公式記録

(社)兵庫県サッカー協会
兵庫県高体連サッカー部

平成22年度兵庫県高等学校サッカー新人大会　　準決勝 【 38 】

主審署名	藤井 健介

日時	2011 年 2 月 11 日（金） 13 ： 00 キックオフ	会場	アスパ五色 メイングラウンド
天候	曇り　風　弱風	ピッチ	(天然芝)・人工芝・クレー
状態	水含み	試合形式	70 分 ／ 延長 分 ／ PK戦 有
ﾏｯﾁｺﾐｯｼｮﾅｰ	辺見 康裕	会場主任	堀口 泰司
記録	佐野 知彦 ／ 岡本 進司	観衆	300 人
主審	藤井 健介	副審1	赤沼 潤也
副審2	中村 正光	第4の審判員	稲次 孝王

チーム名				チーム名
神戸弘陵学園高校	1	0 前半 0	0	関西学院高等部
		1 後半 0		kick off
		延前		
		延後		
選手番号 PK戦 ○× 先		PK戦		PK戦 先 ○× 選手番号

交代 No.	交代 OUT時間	シュート 延後	シュート 延前	シュート 後半	シュート 前半	選手名 (学年)	番号	位置	位置	番号	選手名 (学年)	シュート 前半	シュート 後半	シュート 延前	シュート 延後	交代 OUT時間	交代 No.
	分					山田 亮 2年	1	GK	GK	20	村澤 健太郎 2年					分	
	分					山田 健太 1年	2	DF	DF	2	肥後 陽 2年					66 分	
	分					嶋谷 昇大 2年	③	DF	DF	3	林 俊彰 1年					分	
	分					吉岡 尊志 2年	4	DF	DF	4	高見 将悟 2年					分	
	分					今城 昌孝 1年	13	DF	DF	5	山本 聖貴 2年					分	
	分					森 佑太 2年	6	MF	MF	6	松村 圭悟 2年					分	
	分					江坂 巧 1年	15	MF	MF	⑦	西尾 将太郎 2年		2			65 分	
	68 分					岩本 直樹 2年	8	MF	MF	8	安田 有希 2年	1				分	
	分			1		滝野 理貴 2年	9	MF	MF	9	鎌田 竜太郎 2年	1				55 分	
	分					車 剛史 2年	10	FW	FW	10	三船 一翔 2年		2			分	
	47 分					中村 祐輝 1年	16	FW	FW	19	留田 紫雲 1年	1	1			分	
	分					鈴木 一馬 2年	12	GK	DF	13	種子 祐輔 1年					分	
	分					全 成希 2年	5	DF	DF	14	相原 健吾 2年					分	
	分					村田 尚之 1年	14	DF	DF	12	神吉 健太 1年					分	
	分					澤 侑太 2年	19	MF	MF	16	伊藤 大介 2年					分	
	分					藤原 拓也 2年	17	MF	MF	17	山口 雅弘 1年					分	
8	分					松崎 翼 1年	20	MF	MF	15	瀬部 樹 2年					分	9
	分					浅沼 悠 2年	7	MF	FW	11	村井 貫志 2年					分	7
16	分					藤井 心豊 2年	11	FW	FW	24	立花 勇人 2年					分	2
	分					國生 克彦 2年	18	FW	FW	25	上原 貴史 2年					分	

時間	警・退	No.	氏名	事由	合計	延後	延前	後半	前半	チーム合計	前半	後半	延前	延後	合計	時間	警・退	No.	氏名	事由
43 分	警告	15	江坂 巧	反ス	1			1	0	シュート	3	5			8	60 分	警告	5	山本 聖貴	反ス
分					9			6	3	ＧＫ	6	3			9	分				
分					0			0	0	ＣＫ	0	2			2	分				
分					16			8	8	直接ＦＫ	6	8			14	分				
分					2			2	0	間接ＦＫ	0	1			1	分				
分					0			0	0	ＰＫ	0	0			0	分				

［警告事由］ 反ス・ラフ・異議・繰返・遅延・距離・無入・無去　　［退場事由］ 不正・乱暴・つば・阻(手)・阻(他)・侮辱・警2

得点経過

［得点経過］ 略号例：ドリブル～・ゴロのパス→・浮き球∩・混戦×・ヘディングH・シュートS

時間	チーム	No.	得点者	スコア	
61 分	神戸弘陵	9	滝野	1 － 0	右 ⑨ → ② → ⑨ S
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	
分				－	

戦評

戦評者　所属 【 加古川西・御影 】　氏名 【 有馬・小林 】

降り続いた雪も溶け、ややスリッピーなグラウンド状態の中、神戸弘陵は⑮江坂を中心に多彩なパスサッカーを展開する。対する関学は⑩三船を起点にロングボールを集める。ロングボールに対して神戸弘陵は体を張ったＤＦで空中戦を支配し、関学に攻撃の型を作らせなかった。神戸弘陵は細かいパスのつなぎから得点を伺うがゴールには至らなかった。後半、互いに縦へのロングボールが増え攻撃のリズムが作れず一進一退のゲーム展開になった。６１分神戸弘陵の右サイドからのクロスボールによりゴールが生まれる。その後関学は選手交代により前線に人数を増やし、シンプルな攻撃を展開しゴールを狙うが神戸弘陵の粘り強いＤＦによって阻まれゲームが終わる。両チームともに空中戦の強さと高い技術を兼ね備えいた。

［備考］